

宇宙大怪獣ギララ (1967)

THE X FROM OUTER SPACE

メディア 映画
ジャンル 特撮 SF
製作国 日本
色彩 Color
時間 88分
初公開日 1967/03/25

【解説】

松竹初にして（今のところ）最後の怪獣映画。川上景司が66年に設立した日本特撮映画株式会社が特撮スタッフとして参加している。日本宇宙開発局の宇宙船は月から火星に向か途中で事故に遭う。乗組員は無事救出されるが、宇宙船の主動力となる原子炉のまわりに不思議な発光体が付着していた。資料として持ち帰られた発光体は、開発局で、巨大怪獣となってしまふ。地球上のあらゆるエネルギーを吸収し、ギララは巨大化し続けていく……。

怪獣の描写よりも、アストロポートを中心とした宇宙でのシーンに力を注いで子供たちの好評を得た。当時は怪獣ブームの最中であり、各社が競作したが、主人公（『ミラーマン』のSGMキャップ）と女性の恋愛が主軸になっているあたりが松竹らしい特色と言える。主題歌は倍賞千恵子。若々しい藤岡弘も観ることが出来る。なお、“ギララ”という愛くるしい名前は公募で決められた。

【登場怪獣】 ギララ

【クレジット】

監督 二本松嘉瑞
製作 島田昭彦
脚本 元持榮美
石田守良
二本松嘉瑞
撮影 平瀬静雄
特撮 川上景司
美術 重田重盛
音楽 いずみたく
特技監督 池田博

出演	和崎俊也		佐野（ガンマ号艦長）
	ペギー・ニール	Peggy Neal	リーザ（生化学博士）
	原田糸子		道子（ガンマ号乗員）
	柳沢真一		宮本（ガンマ号通信技師）
	岡田英次	Eiji Okada	加藤
	フランツ・グルーベル	Franz Gruber	バーマン
	園井啓介		塩田（ガンマ号医師）
	マイク・ダニーン	Mike Daneen	スタイン
	浜田寅彦		木村
	北竜二		対策本部長

穂積隆信

F A F C 技官

藤岡弘

Hiroshi Fujioka 月ステーション通信員

キャッシー・ホーラン